

プログラム

平成24年7月13日(金) 開場 8:30

開会の挨拶 9:00 天野 富美夫(大阪薬科大学 生体防御学研究室 教授)

一般演題1 9:05~9:53 座長:水之江 義充(東京慈恵会医科大学・細菌学)

[細菌付着の制御と Biofilm 形成]

0-01 Role of extracellular DNA and DNA-binding protein in biofilm formation of *Streptococcus intermedius*

○Asikin Nur¹⁾、弘田 克彦¹⁾、湯本 浩通²⁾、平尾 功治²⁾、高橋 加奈子²⁾、村上 圭史¹⁾、松尾 敬志²⁾、三宅 洋一郎¹⁾

1)徳島大学 HBS 研究部 口腔微生物学分野、2)徳島大学 HBS 研究部 歯科保存学分野

0-02 殺菌処理後のバイオフィルム構造への *Streptococcus mutans* の二次付着について—一殺菌から分散、剥離へと口腔バイオフィルムの制御戦略転換の必要性の提言—

○大墨 竜也、竹中 彰治、興地 隆史

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 口腔健康科学講座 う蝕学分野

0-03 高機能キメラ酵素の創出による歯面バイオフィルムの分解の試み

○角田 衣理加¹⁾、大塚 良子²⁾、野村 義明¹⁾、村田 貴俊¹⁾、今井 奨¹⁾、津守 秀明³⁾、桃井 保子²⁾、花田 信弘¹⁾

1)鶴見大学歯学部 探索歯学講座、2)鶴見大学歯学部 保存修復学講座、3)防衛医科大学校 化学教室

0-04 非結核性抗酸菌が形成するバイオフィルムの生態学的特徴

○西内 由紀子¹⁾、戸谷 孝洋²⁾、立石 善隆^{2,3)}、前倉 亮治³⁾、松本 壮吉²⁾

1)大阪市立大学医学部刀根山結核研究所、2)大阪市立大学大学院医学研究科細菌学講座、3)国立病院機構刀根山病院

一般演題2 9:56~10:44 座長:恵比須 繁之(大阪大学大学院・歯・口腔分子感染制御学)

[Biofilm 形成の制御機構]

0-05 嫌気環境下における緑膿菌 Biofilm の形成メカニズムの解析

○清川 達則、八幡 穰、豊福 雅典、内山 裕夫、野村 暢彦

筑波大学大学院 生命環境科学研究科 微生物機能利用学

0-06 ウェルシュ菌の温度依存的なバイオフィーム形態変化の制御機構の解析

○尾花 望、中村 幸治、野村 暢彦

筑波大学 生命環境系

0-07 緊縮応答による百日咳菌 Biofilm 形成の制御

○杉崎 健太郎¹⁾、花輪 智子¹⁾、澤井 真優子²⁾、米澤 英雄¹⁾、大崎 敬子¹⁾、蔵田 訓¹⁾、神谷 茂¹⁾

1) 杏林大学 医学部感染症学教室、2) 杏林大学医学部感染症学教室 (医学科6年生)

0-08 *Streptococcus* 属細菌の ComA ペプチダーゼドメインの簡易活性測定を目的とした人工基質の検討

○石井 誠志¹⁾、矢野 貴人^{1,3)}、海老原 章郎^{4,6)}、岡本 明弘⁵⁾、満足 美穂⁴⁾、林 秀行^{1,2)}

1) 大阪医科大学 医学部 生化学、2) 大阪医科大学 医学部 化学、3) 大阪医科大学 看護学部 生化学、4) 理研播磨研 放射光科学総合研究センター、5) 東海大学 開発工学部、6) 岐阜大学 応用生物科学部

一般演題3 10:47～11:35

座長：公文 裕巳(岡山大学大学院・医歯薬学総合・泌尿器病態学)

[薬剤耐性]

0-09 付着及びバイオフィーム形成緑膿菌の抗菌薬抵抗性関連遺伝子の探索

○村上 圭史¹⁾、小野 恒子²⁾、弘田 克彦¹⁾、三宅 洋一郎¹⁾

1) 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 口腔微生物学分野、
2) 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 微生物、遺伝子解析学分野

0-10 広宿主域接合プラスミド *pJRD215* を基盤にした新規プラスミドの作製と口腔 *Actinomyces* 属細菌への応用

○真下 千穂、南部 隆之、円山 由郷、山根 一芳、山中 武志、福島 久典

大阪歯科大学 細菌学講座

0-11 *Porphyromonas gingivalis* の PGN_0088 遺伝子の役割解析

— バイオフィーム形成とマクロライド系抗生物質の抗バイオフィーム作用について —

○山本 れいこ、野村 由一郎、山口 幹代、朝日 陽子、前園 葉月、呉本 勝隆、
恵比須 繁之

大阪大学 大学院 歯学研究科 口腔分子感染制御学講座(歯科保存学教室)

0-12 *Helicobacter pylori* バイオフィームにおける Efflux pump の発現上昇とクラリスロマイシン抵抗性

○米澤 英雄、大崎 敬子、花輪 智子、蔵田 訓、神谷 茂

杏林大学医学部感染症学教室

[病原性と測定法]

0-13 黄色ブドウ球菌(SA)のバイオフィーム(BF)形成能と生体内における病原性の検討

○真鍋 ひとみ¹⁾、自見 至郎²⁾、大山 拓人³⁾、倉田 久嗣¹⁾、原 周司¹⁾、高田 徹⁴⁾、大慈弥 裕之³⁾

1)福岡大学 薬学部、2)福岡大学 医学部 病態構造学、3)福岡大学 医学部 形成外科学、
4)福岡大学 医学部 腫瘍血液感染症内科学

0-14 本邦で分離された多剤耐性アシネトバクター(*Acinetobacter baumannii*)のバイオフィーム形成能に関する検討

○狩山 玲子¹⁾、光畑 律子¹⁾、高田 徹²⁾、松永 彰³⁾、吉村 尚江³⁾、公文 裕巳¹⁾

1)岡山大学大学院医歯薬学総合研究科泌尿器病態学、2)福岡大学病院感染制御部、
3)福岡大学病院臨床検査部

0-15 *Streptococcus anginosus* 選択培地開発における抗菌剤の検討

○野村 義明¹⁾、福田 雄¹⁾、角田 衣理加¹⁾、村田 貴俊¹⁾、大塚 良子¹⁾²⁾、今井 奨¹⁾、花田 信弘¹⁾

1)鶴見大学歯学部探索歯学講座、2)鶴見大学歯学部保存修復学講座

0-16 低電圧パルス印加による大腸菌検査における前処理方法の開発

○松田 直樹、岡部 浩隆、中島 達郎

産業技術総合研究所 生産計測技術研究センター

— 昼休み (12:30～13:30) —

[細菌のバイオフィーム形成と薬剤耐性機構]

山口 明人(大阪大学産業科学研究所・生体情報制御学研究分野)

[再考！バイオフィルム！]

S-1 バイオフィルム形成に関わる遺伝子群の転写制御

○石浜 明

法政大学・生命科学部・マイクロナノテクノロジー研究センター

S-2 口腔細菌のトランスロケーションによる感染症とその予防
— 誤嚥性肺炎を中心に —

○三宅 洋一郎

徳島大・院 HBS 研究部・口腔微生物

— 休 憩 (15分間) —

S-3 口腔バイオフィルム形成に関与するセンサー分子の役割

○泉福 英信

国立感染症研究所細菌第一部

S-4 黄色ブドウ球菌の新規グローバルレギュレーター SptA とバイオフィルム産生

○加藤 文紀、菅井 基行

広島大学大学院医歯薬保健学研究科 細菌学研究室

S-5 結核菌の増殖、長期生存、および静止期以降の薬剤抵抗性獲得の分子メカニズム

○松本 壮吉

大阪市大・院・医・細菌学分野

閉会の挨拶 18:00 天野 富美夫(大阪薬科大学 生体防御学研究室 教授)

懇 親 会 18:15～20:15

運営委員会が12:30から別室で行われます。運営委員の先生方はお集まりください。
(運営委員会には昼食の用意を致しております。)